

2020 年 1 月 31 日

2019 年度聖路加国際大学大学院看護学研究科課題研究

Veno-venous Extracorporeal Membrane Oxygenation 使用患者の
リハビリテーションにおける急性・重症患者看護専門看護師の臨床判断と看護実践

Clinical Judgment and Practice of Certified Nurse Specialist in Critical Care Nursing During
Patient's Rehabilitation with Veno-venous Extracorporeal Membrane Oxygenation

17MN305

長崎 祐士

要旨

目的:本研究の目的は、Veno-venous Extracorporeal Membrane Oxygenation(以下、V-V ECMO)使用患者のリハビリテーションにおける急性・重症患者看護専門看護師(Certified Nursing Specialist in Critical Care Nursing, 以下、CCNS)の臨床判断と看護実践を明らかにすることである。

方法:本研究は、質的記述的研究を用いた。V-V ECMO 使用患者のリハビリに関わった経験のある CCNS を対象に、インタビューガイドに沿った半構造化面接を行った。得られたデータを基に逐語録を作成し、V-V ECMO 使用患者のリハビリにおける CCNS の臨床判断と看護実践について、帰納的に分析を行った。

結果:研究参加者は3名(平均看護師経験年数19.3年、平均CCNS経験年数6.0年、平均V-VECMOリハビリ経験10.7症例)で、平均インタビュー時間は53分であった。V-VECMO使用患者のリハビリにおけるCCNSの臨床判断と看護実践に関して、15カテゴリ、5コアカテゴリが抽出された。

【意思疎通ができる安楽な覚醒状態への援助】【V-V ECMO 使用下における療養生活への適応支援】【患者自身による日常生活動作への支援】【患者・家族のリハビリに対する主体性を引き出す支援】【V-VECMO 治療の理解とリハビリへの認識】【患者の状態を把握してリハビリの目標設定と開始の査定】【リハビリに伴う苦痛と合併症の予防】【リハビリ実施中のECMO特有のモニタリングと評価】【安全にリハビリを実施するための調整】【看護師への支持的な教育】【看護師が行うリハビリ実施の支援】【実施状況の評価とアウトカムの共有】【多職種と協働してリハビリを実施】【チーム医療によるリハビリ継続への調整】【終末期のリハビリにおける倫理的問題への支援】の計15カテゴリが抽出された。それを基に更に「患者の主体的な力を引き出す」「安全・安楽なリハビリの継続」、「看護師への支援」、「チーム医療による継続」「倫理的問題への支援」の計5コアカテゴリが抽出された。カテゴリ、コアカテゴリの関連を検討し、V-V ECMO 使用患者のリハビリにおけるCCNSの臨床判断と看護実践が構造化された。

結論:CCNSは、V-V ECMOが必要な重症患者に対して意思疎通ができる安楽な覚醒状態への援助を行い、リハビリに際して患者の主体的な力を引き出すことを基盤としていた。また、患者・家族、看護師、チームに向けて実践・相談・調整・教育の役割を行い、安全・安楽なリハビリの継続に繋がっていることが明らかとなった。さらにV-V ECMO使用患者の終末期におけるリハビリには、倫理調整の場面が生じやすいことも示唆された。今後、V-V ECMO 使用患者へのケアの評価やエビデンスの蓄積を行い、CCNSの判断や実践を洗練させることで役割開発を行うことが重要である。